

愛知学泉大学オーケストラ創立15周年記念公演

第20回記念定期演奏会

特別企画

寺部だい・著「おもいでぐさ」より

夢のさなか

作詞・朗読台本・演出／岡本さとる 作曲／ボブ佐久間
朗読／山本陽子(特別出演)



合唱／パティオ・シアター合唱団 安城学園高等学校合唱部
オーケストラ／愛知学泉大学オーケストラ 安城学園高等学校弦楽部



学校法人安城学園創立者
寺部だい

「人は誰でも無限の可能性を持っている。一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで開発することが教育です。」
(寺部だい談)

女性の自立と女性が学ぶことの大切さを提唱し、今に受け継がれる大きな足跡を残された寺部だい先生。学校法人安城学園が創立100周年を迎えることができたのは、明治45年に安城裁縫女学校を寺部だい・三蔵夫妻が創設したことに端を発する。今年度生誕130年を迎える寺部だい先生が、人として、女性として、安城学園の創立者として、どのように生き、どのように教育に携わってきたのか、その生き様をオーケストラと合唱によるオラトリオで回想する。



指揮・音楽監督
吉見光三



朗読
山本陽子(特別出演)

エントラータ 作曲／鈴木英史

2000年「ウィーン・ブダペスト演奏旅行」実施記念委嘱作品

夢のさなか 作曲／ボブ佐久間

2012年「第20回記念定期演奏会」開催記念委嘱作品

2013年 3月 24日 日 15:00 開演
14:30 開場

一般2,000円 学生1,000円(高校生以下)

刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール

<http://www.kariya.hall-info.jp/>
JR・名鉄三河線 刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分

[チケット販売・お問合せ]

TEL 090-3309-8403 オーケストラスタッフ(石川)

FAX 0566-72-2808 学校法人安城学園高等学校

主催 愛知学泉大学オーケストラ

後援 愛知県教育委員会・安城市・岡崎市・刈谷市・
豊田市・愛知県中学高校オーケストラ連盟

中日新聞社

愛知学泉大学オーケストラ
Aichi Gakusen University Orchestra



《指揮》吉見光三



1946年京都市生まれ。京都市立音楽短期大学(現・京都市立芸術大学音楽学部)を経て専攻科修了。トロンボーンを大和久俊寿氏、指揮法を外山雄三氏に師事。1969年に安城学園高等学校吹奏楽部の顧問となり、1995年には全日本吹奏楽連盟主催の全日本吹奏楽コンクールにおいて全国大会初出場で金賞を受賞。昨年2010年までに4度の3年連続全国大会出場(計12回)を果たす。また、指導する吹奏楽部は音楽を通した多くの交流活動が認められ、1988年愛知県芸術文化選奨文化奨励賞、2005年愛知県国際交流推進賞、2007年安城市文化協会特別賞を受賞、2009年には三井住友文化財団より表彰と助成金を受ける。1997年には愛知学泉大学オーケストラの創設と同時に音楽監督兼指揮者に就任。以来、N響ソロコンサートマスターの堀正文氏、ピアニストの陳政宇氏・田村響氏、ユーフォニウム奏者の外園祥一郎氏をはじめ、ウィーンフィル、ニューヨークフィル、N響、東京都響などから多彩なゲストを招き協奏曲等で共演している。また、過去5度の豊田シティバレエ団「くるみ割り人形」全幕公演を安城・豊田・刈谷で指揮。安城第九を歌う会と、過去2度「ベートーヴェン第九交響曲合唱付き」を共演。岡崎第九を歌う会にて11年合唱を指揮。2001年には大学オーケストラの管楽器と打楽器メンバーで吹奏楽研究会を結成し、吹奏楽コンクール初出場にして大学の部で見事全国大会出場を決める。これまでに、1988年JBA(全日本吹奏楽指導者協会)より優秀指導者賞、1996年東海吹奏楽連盟創立70周年功労賞、2007年NBA(全米吹奏楽協会)から特別賞、2007年中部日本吹奏楽連盟創立50周年功労賞を受賞。また2011年日本吹奏楽連盟より永年勤続表彰を受ける。現在、吹奏楽コンクール及びアンサンブルコンテスト審査員、吹奏楽連盟講習会及び課題曲講習会講師、愛知県吹奏楽連盟副理事長、全国高等学校オーケストラ連盟理事、愛知県中学校・高等学校オーケストラ連盟理事長、安城学園高等学校吹奏楽部・弦楽部顧問、愛知学泉大学オーケストラ音楽監督兼指揮者、愛知学泉ウィンドオーケストラ音楽監督兼指揮者。

《オーケストラ》愛知学泉大学オーケストラ

1997年にNHK交響楽団ソロ・コンサートマスターの堀正文氏を顧問に迎え、音楽監督兼指揮者の吉見光三氏のもとに愛知学泉大学オーケストラとして結成。同年12月に顧問である堀正文氏をソリストに迎え、第一回定期演奏会を開催。以来、定期演奏会には当楽団顧問である堀正文氏(第1、2、3、4、7、15回定期演奏会)をはじめ、ウィーン・フィルハーモニー交響楽団チェロ奏者のロベルト・ナジ氏(第1回海外演奏旅行)、ニューヨークフィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者のジョセフ・アレッシ氏(2000年8月スペシャル・サマー・コンサート)、トランペット奏者として活躍するアレク・ヴィツズウティ氏(2000年8月スペシャル・サマー・コンサート)、ユーフォニウム奏者の外園祥一郎氏(2000年8月スペシャル・サマー・コンサート、第8回定期演奏会)、ピアニストの陳政宇氏(第2、3回海外演奏旅行、第5、10回定期演奏会、第13回スプリングコンサート)、フルート奏者のアンドレア・グリミネッリ氏(第6回スプリングコンサート)、NHK交響楽団首席トロンボーン奏者の新田幹男氏(第5回海外演奏旅行・第14回定期演奏会)など世界で活躍する一流のプレーヤーと多数共演を果たしている。また、2000年からは海外への演奏旅行も積極的に行っており、これまでにウィーン・ブダペスト(2000年・第1回海外演奏旅行)、中国・韓国・ベトナム(2002年・第2回海外演奏旅行)、中国(2005年・第3回海外演奏旅行)、ドイツ・デンマーク(2007年・第4回海外演奏旅行)、ドイツ(2010年・第5回・2012年・第6回海外演奏旅行)の各地の演奏会を実施、大成功を収める。

《合唱団》パティオ・シアター合唱団



パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)の舞台芸術実践講座(シアターカレッジ)「混声合唱」の受講生により、2006年に混声合唱団として結成された。「パティオ・ニューイヤーコンサート」には、2005年より毎年出演。これまで定期演奏会を3回開催。日本の合唱曲、イタリア、フランスなどの代表的なミサ曲、オペラ曲、合唱曲をオーケストラ、ソリストと共に歌い続けている。2011年1月にはオペラ「カルメン」全4幕の公演を行った。また知立市を代表とする混声合唱団として、積極的に知立市民音楽祭、しみん劇、オペレッタ公演などへの賛助出演もし、地域に根ざした活動を目指している。

《作詞・朗読台本・演出》岡本さとる



大学卒業後、松竹勤務を経て脚本家・演出家となる。「必殺仕事人2009」「水戸黄門」「剣客商売」「時代劇スペシャル 柳生一族の陰謀」「世直し順庵・人情剣」「新・桃太郎侍」などテレビドラマの脚本のほか、舞台では「喜劇 女房は幽霊」(名取裕子・主演)、「好色一代男」(片岡愛之助・主演)などの商業演劇の脚本・演出、「浪華騒擾記」「平成若衆歌舞伎」「鬼平犯科帳 大川の隠居」など歌舞伎の脚本を手掛ける他、「愛、時をこえて」「土御門大路」「極付 森の石松」などの作・演出で独自の時代物の世界を展開している。

2010年12月には時代小説「取次屋栄三」(祥伝社)で待望の作家デビュー、続いて2011年9月には「剣客太平記」(角川春樹事務所)が出版され、いずれも人気シリーズとなり、巻を重ねて発売中である。

《作曲》ボブ佐久間



僅か19歳で東京交響楽団にヴァイオリン奏者として入団。後にジャズピアニストを経て23歳で作曲家としてデビュー。その後無数のTVドラマ、アニメ、音楽番組等を手がけ、1977年～1985年まで米国ハリウッドに在住。帰国後は壮大かつ多彩な編曲力、管弦楽法を武器に多くの作品を手がけている。1995～2012年まで名古屋フィルハーモニー交響楽団ポップス部門のミュージックディレクター(音楽監督)を勤め、同楽団の集客拡大に貢献した。

その他、全国主要なオーケストラとの共演も多く、2006年には英国ロイヤルフィルとのコンサートを成功させ、鮮烈なロンドンデビューを飾った。また韓国ドラマのオーケストラコンサートに於いても編曲、指揮を担当し、女優チェジウ氏とも度々共演するなど、幅広いジャンルに於いて活躍中。

『より多くの人にもっと気軽にオーケストラを楽しんでもらうこと』を、ライフワークに、毎回のコンサートを楽しませてくれる音楽の料理人である。

寺部だい・著「おもいでぐさ」より

夢のさなか